

★「山形学」フォーラム 質問に対する本郷先生の回答書★

①問い (というか意見) 「なぜ山形の子どもたちは、ゲームやアニメを楽しむ以上に伝統芸能に親しんでいるのか」と言っていたが、それは大人がとても面白がっているのを見ているせいではないでしょうか？

答え 全くその通りですね。大人たちが伝統をしっかり受け止めて、面白がっている姿。それを見ているからこそ、子どもたちが「ぼくも私も、やってみたいな」と思うんですよね。いつまでも「山形らしさ」を伝えていってほしいな、と願います。

②問い 保科正之が会津に去った後、なぜ山形藩は左遷の地になったのか。また左遷の地は他にあるのか。

答え 福島県の棚倉藩が左遷の地として有名です。山形が豪雪地帯というならばともかく、米沢に比べても、山形は雪が少ないそうですね。お世辞抜きに、山形は住みやすそうです。棚倉も同じです。住みにくい、荒れている、等の感じは全くしません。結局、左遷の地のようになっているのは「たまたま」なのではないでしょうか。

③問い 伊達政宗はどうして関ヶ原の戦いの時に東西どちらにも属さなかったのか？

答え 一応、東軍として最低ランクの働きはしています。白石城を落としていますね。でも、伯父さんである最上義光の救援要請とかには応じていません。まあ、正直、どちらに味方すれば伊達家は生き残れるか、と慎重に見きわめていたのでしょうね。だから関ヶ原で家康が勝ったという報せを受けたあとは、一生懸命、東軍として戦っています。でも、それは、家康は「手柄」としてはカウントしていません。何だよ、火事場泥棒かよ、という感じだったのでは(笑)

④問い 宋銭を得るために、日本は何を輸出したのか？

答え 鎌倉時代の日本が輸出したのは、たとえば立派な材木です。それから、東北の砂金。あとは刀とかの工芸品でしょうか。硫黄も大事な輸出品になりますが、室町時代になってからですね。

⑤問い どんな教科書が良いと思うか

答え ぼくにもよく分からないのです。でも、とにかく「読んで面白い教科書」が良いのではないかと。ではどうすれば面白いのか。適度に物語の要素を盛り込むのが良いと思います。現在の教科書は「歴史にもしも、はない」「歴史に物語はいらない」という考えで書かれています。そのため、「基本的には、教科書は憶えなさい」という指導が為される。

高校の教育現場で、「暗記が大事だ」となるのは、大学入試が大きな原因ですね。実際にある私立大学の教員(ぼくが教えたことのある人)は、教科書の欄外の記述から問題を作成する、と胸を張って言っていました。おいおい、どうしてそんな「知ってる、知らない」を聞く、クイズみたいな問題を出すんだ、と若干

問い詰めるような口調で聞いたところ、「仕方が無い。そうしないと採点ができない」。との答えでした。論述問題などを出したら、公平な採点をする自信がないということでしょう。気持ちは分かりますが、これではいけません。こうした「ヘンな」入試問題に対応するためには、高校の先生方は「憶えなさい」と指導するしかなくなります。となると、ぼくは一番の答えは「大学入試から日本史を外す」しかないのかな、と考えています。

こうすれば、高校の先生方はのびのびと日本史を教えることができる。一年、坂本竜馬のことを話してもいいですし、最上義光の生涯を語ってもいい。こういう授業を聞いた子どもたちは、日本史に興味を持ってくれるし、興味を持ってくれさえすれば、「自分で調べ、自分で考える」という姿勢ができるのではないのでしょうか。